学校番号	J1002

令和８年度　数学科

学年	1	週授業コマ数	4	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	140
使用教科書	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる「これからの　数学１」（数研出版）						
副教材等	ONLY ONE　数学　完全書き込み式テキスト　中１　（日本教材出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・なぜ数学を学習するのかを考え、授業に積極的に参加しましょう。
・自分の考えを大切にし、発表できるようにしましょう。また、他の人の発表をよく聴き、他の考え方も学びましょう。
・授業中はメモをとり、授業後にノートをまとめることに挑戦しよう。
・家庭学習を大切にし、予習、復習に努めましょう。課題はしっかり提出しましょう。
・理解を深めるためには、人に説明できることが重要です。解けるのみでなく説明できるところまで頑張りましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（２）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
（３）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 正の数と負の数	① **正の数と負の数**	a: 正の数と負の数の必要性と意味について，それらが使われている具体的な場面に結び付けて理解している。 基準とのちがいや反対の性質をもつ数量を，符号のついた数で表すことができる。 b: 数の範囲を負の数に拡張した数直線について考えることができる。 正の数と負の数の大小関係について，数直線と絶対値をもとに説明することができる。 c: 正の数と負の数の必要性と意味を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		② **加法と減法**	a: 正の数と負の数の加法・減法の計算方法を理解し，その計算ができる。 b: 既習の計算をもとにして，符号の異なる加法の計算方法を見いだし，符号や絶対値などに着目してまとめることができる。 既習の計算をもとにして，減法の計算方法を考察し，数直線を使って説明することができる。 正の数と負の数の減法の結果についてまとめ，説明することができる。 c: 正の数と負の数の加法・減法の計算方法を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

		③　乗法と除法	a：正の数と負の数の乗法・除法の計算方法を理解し，その計算ができる。 b：乗法と積の符号のきまりについて考察し，説明することができる。 既習の計算をもとにして，除法の計算方法を考察し，説明することができる。 c：正の数と負の数の乗法・除法の計算方法を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		④　いろいろな計算	a：四則の混じった式の計算順序を理解し，その計算ができる。 自然数を素因数分解することができる。 身のまわりの事象を，正の数と負の数を用いて整理して表すことができる。 b：数の集合とその集合における四則計算の可能性について捉え直すことができる。 自然数を素数の積で表すことにより，約数，倍数などの整数の性質について捉え直すことができる。 c：正の数と負の数を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

	2章 文字と式	① **文字と式**	a: 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解し，表し方にしたがって表すことができる。 文字を用いて数量の関係や法則を簡潔に表すことができる。 文字を用いた式の文字にいろいろな数を代入して式の値を求めることができる。 b: 規則的に変化する事象を，文字式を使って一般的に表すことができる。 1種類の文字で表された式と2種類の文字で表された式のちがいを考察し，説明することができる。 c: 文字を用いることの必要性と意味を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		② **文字式の計算**	a: 1次式の加法・減法・乗法・除法の計算方法を理解し，その計算ができる。 b: 1次式の加法・減法・乗法・除法について，数の計算や具体的な場面と関連付けて考え，説明することができる。 c: 1次式の四則計算の方法を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		③ **文字式の利用**	a: 数量の関係を等式や不等式で表したり，その関係を読み取ることができる。 b: 文字式を具体的な場面で利用することができる。 c: 文字式を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

	3章 1次方程式	① １次方程式	a：方程式の解の意味を理解している。 等式の性質をもとにして式を変形し，解を求めることができる。 比例式を比の値にもとづいて変形し，方程式とみることができる。 b：式変形の過程を考察し，方程式を解く一般的な手順をまとめることができる。 c：方程式の必要性と意味を考えようとしている。 いろいろな方程式を能率的に解く方法を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
2学期		② １次方程式の利用	a：方程式を利用して具体的な場面における問題を解決する手順を理解している。 b：方程式を具体的な場面で利用することができる。 c：方程式を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
	4章 比例と反比例	① 比例	a：関数、変数、変域の意味を理解している。 比例の関係を式に表すことができる。 座標平面上の点の位置を読み取ったり，座標として表したりすることができる。 比例の関係をグラフに表すことができる。 比例のグラフの特徴を理解している。 b：比例の関係を負の範囲に拡張し，関数関係として捉え直すことができる。 比例の表，式，グラフを相互に関連付けてみることができる。 c：比例の関係を，変域や比例定数が負の数の場合に拡げて考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

		② 反比例	a：反比例の関係を式に表すことができる。 反比例の関係をグラフに表すことができる。 反比例のグラフの特徴を理解している。 b：反比例の関係を負の範囲に拡張し，関数関係として捉え直すことができる。 反比例の表，式，グラフを相互に関連付けてみることができる。 c：反比例の関係を，変域や比例定数が負の数の場合に拡げて考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		③ 比例と反比例の利用	b：具体的な事象を比例，反比例とみなし，式，表，グラフを利用して考察することができる。 c：比例，反比例を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。		定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
	5章 平面図形	**① 平面図形**	a：記号を用いて，点や直線の関係，角を表すことができる。 平行移動，対称移動，回転移動の意味ときまりを理解している。 b：図形の移動を具体的な場面で利用することができる。 c：2 つの図形がどのような移動によって重なるかについて，多様な方法を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		② 作図	a：垂直二等分線，角の二等分線，垂線を作図する方法を理解している。 b：基本的な作図の方法について，図形の対称性をもとに統合的にみることができる。 c：作図の方法について，図形の対称性をもとにして考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

		③　**円**	a：円の弦の性質を理解している。 b：円の対称性に着目して円の接線を作図する方法を見いだすことができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
	6章　空間図形	①　**空間図形**	a：多面体，角錐，円錐の意味やそれらの特徴を理解している。 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 b：構成要素に着目して立体の特徴を考察し，説明することができる。 見取図と投影図を相互に関連付けてみることができる。 c：立体を多面的に考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		②　**立体の体積と表面積**	a：角柱，円柱，角錐，円錐，球の体積や表面積の求め方を理解し，それらを求めることができる。 b：おうぎ形の中心角の大きさと弧の長さや面積にどのような関係があるか考察し，説明することができる。 c：角柱，円柱，角錐，円錐，球の体積や表面積の求め方を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
3学期	7章　データの活用	①　**データの整理とその活用**	a：データを表やグラフに整理することができる。 相対度数の必要性と意味を理解している。 b：データを分析して分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。 c：データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

		② **確率**	a: 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。 b: 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして，事象の起こりやすさの傾向を読み取り，説明することができる。 c: 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1002

令和８年度　数学科

学年	2	週授業コマ数	4	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	140
使用教科書	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる「これからの　数学２」（数研出版）						
副教材等	数学　リピート学習２　書き込み式テキスト　中２　（正進社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学２年生で学ぶ数学は、１年生で学んだ知識や考え方を用いて学習が進んでいきます。中学２年生で扱われる１つ１つの知識や見方を学びながら数学について理解を深めるとともに、身の回りに数学がどのように活用されているかについても皆さんに感じてもらえるような授業を展開していく予定です。
授業を受けるときは、先生の話を聞き、ノートにまとめることも大切ですが、それだけでなく、「なぜこんなことがいえるんだろう？」、「他にも解決する方法はないか」という視点をもって積極的に学習に臨んでください。また、発表をする機会もできるだけ設けようと思うので、自分の考えを人にわかりやすく伝える力も数学の授業の中でつけてほしいと思っています。
家庭学習も大切にし、その日に学んだことはその日中に見直す習慣をつけましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（２）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
（３）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 式の計算	①　式の計算	a:単項式と多項式の意味を理解している。 簡単な多項式の加法や減法、単項式どうしの乗法や除法の計算方法を理解し，それらの計算をすることができる。 b:簡単な多項式の加法や減法や，単項式どうしの乗法や除法の計算について，数の計算や1年で学習した文字式の計算と関連付けて考察し，説明することができる。 式の値を能率的に求める方法について考え，説明することができる。 c:簡単な多項式の加法や減法、単項式どうしの乗法や除法の計算方法を考えようとしている。 式の値の求め方について，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		②　文字式の利用	a: 関係を表す式を，等式の性質などを用いて目的に合うように変形することができる。 b: 文字式を具体的な場面で利用することができる。 c: 文字式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
	2章 連立方程式	①　連立方程式	a:2元1次方程式とその解、連立方程式の解の意味を理解している。 簡単な連立方程式の解き方を理解し，解くことができる。 $A=B=C$ の形をした方程式を解くことができる。 b: 1元1次方程式と関連付けて，連立方程式の解き方について考察し，説明することができる。 c: 連立方程式の解き方の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

		② 連立方程式の利用	a: 連立方程式を利用して具体的な場面における問題を解決する手順を理解している。 b: 連立方程式を具体的な場面で利用することができる。 c: 連立方程式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
2学期	3章 1次関数	① 1次関数	a: 比例が1次関数の特別な場合であることを理解している。 1次関数の変化の割合を理解している。 1次関数をグラフに表すことができる。 与えられたいろいろな条件から 1 次関数や直線の式を求める方法を理解し，その式を求めることができる。 b: 1次関数の特徴を表，式，グラフで捉えるとともに，それらを相互に関連付けて考察し，説明することができる。 c: 1次関数の表，式，グラフを相互に関連付けようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		② 1次関数と方程式	a: 2元1次方程式を，関数関係を表した式とみることができる。 連立2元1次方程式の解が，座標平面上の 2 直線の交点の座標として求められることを理解している。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		③ 1次関数の利用	b: 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を 1 次関数とみなして，変化や対応の様子を考察し，予測することができる。 c: 1 次関数を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
	4章 図形の性質と合同	① 平行線と角	a: 平行線や角の性質を理解している。 多角形の内角の和を求めることができる。 b: 2 直線の位置関係と同位角や錯角の大きさについて考察することができる。 角形の内角の和や外角の和について考察し，説明することができる。 c: 論理的に説明することの必要性を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

		② 三角形の合同	a: 平面図形の合同の意味を理解している。 三角形の合同条件を理解している。 b: 2 つの三角形が合同であるかどうかについて，三角形の合同条件をもとにして説明することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	
		③ 証明	a: 証明の必要性と意味およびその方法を理解している。 b: 見通しをもって証明の方針を立てることができる。 c: 証明の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
	5 章 三角形と四角形	① 三角形	a: 直角三角形の合同条件を理解している。逆や反例の意味を理解している。 b: 二等辺三角形の性質や二等辺三角形になるための条件、正三角形の性質や正三角形になるための条件を論理的に考察し，証明することができる。 三角形の合同条件をもとにして，直角三角形の合同条件を見いだすことができる。 c: 正三角形の性質や正三角形になるための条件を論理的に考察しようとしている。 証明の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
		② 四角形	a: 平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件、平行四辺形，長方形，ひし形，正方形の間の関係を理解している。 b: 平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件、平行四辺形，長方形，ひし形，正方形の間の関係を論理的に考察し，まとめることができる。 c: 証明の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
3 学期	6 章 データの活用	① データの散らばり	a: 四分位数および四分位範囲、箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 b: 箱ひげ図とヒストグラムの関係を考察し，説明することができる。 c: 四分位数および四分位範囲、箱ひげ図の必要性と意味を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

		② データの傾向と調査	b: 四分位範囲や箱ひげ図から分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。 c: 四分位範囲や箱ひげ図を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題
	7章 確率	① 確率	a: 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて，場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。 樹形図や二次元の表などを利用して，起こり得るすべての場合を求めることができる。 簡単な場合について，場合の数をもとにして得られる確率を求めることができる。 b: 同様に確からしいことに着目し，場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し，説明することができる。 c: 場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を考えようとしている。 場合の数をもとにして得られる確率を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 振り返りシート	提出ノート 提出課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1002

令和８年度　数学科

学年	3	週授業コマ数	5	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	175
使用教科書	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる「これからの　数学３」（数研出版）						
副教材等	ONLY ONE 数学完全書き込み式ﾃｷｽﾄ中3（日本教材出版）、３年間の総まとめ問題集数学（新学社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・なぜ数学を学習するのかを考え、授業に積極的に参加しましょう。
・自分の考えを大切にし、発表できるようにしましょう。また、他の人の発表をよく聴き、他の考え方も学びましょう。
・家庭学習を大切にし、予習、復習に努めましょう。課題はしっかり提出しましょう。
・理解を深めるためには、人に説明できることが重要です。解けるのみでなく説明できるところまで頑張りましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（２）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
（３）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 式の計算	① **多項式の計算**	a:単項式と多項式の乗法、多項式を単項式でわる除法の計算ができる。 1次式の乗法の計算ができる。 展開の公式がもつ意味を理解し，式を能率よく処理することができる。 b:単項式と多項式、1 次式と 1 次式の乗法の計算方法を考察し，説明することができる。 c: 単項式と多項式の乗法、1 次式と 1 次式の乗法の計算方法を考えようとしている。 既に学習した計算の方法をもとに，展開の公式を見いだそうとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート 提出課題
		② **因数分解**	a:因数分解が式の展開の逆であることを理解している。 共通因数でくくり出す因数分解ができる。 因数分解の公式[1]～[4]を用いる簡単な因数分解ができる。 b:因数分解する方法を見いだすことができる。 C: 因数分解する方法を見いだそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
		③ **式の計算の利用**	a:文字式で一般的に表現し説明することの必要性と意味を理解している。 b: 式の展開や因数分解を具体的な場面で利用することができる。 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明することができる。 証明を振り返り，数に関する新たな性質を見いだすことができる。 C: 文字式で一般的に表現し説明することの必要性と意味を考えようとしている。 文字式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
	2章 平方根	① **平方根**	a:数の平方根の必要性と意味を理解している。 記号√を正しく用いることができる。 b:数の平方根の近似値を求める方法について考察し，説明することができる。 有理数と無理数の違いについて考察し，説明することができる。 c: 数の平方根の必要性と意味を考えようとしている。 有理数と無理数の違いを考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題

		② 根号をふくむ式の計算	a： 平方根を含む乗法・除法、加法・減法の計算ができる。 平方根を含むいろいろな計算ができる。 近似値と誤差の意味を理解している。 b：分母を有理化する方法を考察し，説明することができる。 分配法則や展開の公式と関連づけて，平方根を含む式の計算の方法を考察し，説明することができる。 平方根を具体的な場面で利用できる。 c： 平方根を含む計算方法や、 分母を有理化する方法を考えようとしている。 平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
	3章 2次方程式	**④ ２次方程式**	a：2 次方程式の必要性と意味、その解の意味を理解している。 平方根の考え方や因数分解、解の公式用いて 2 次方程式を解くことができる。 b： 2 次方程式の解の個数について考察することができる。 2 次方程式を能率的に解く方法を考察することができる。 c：2次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 2 次方程式を能率的に解く方法を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
		⑤ ２次方程式の利用	b： 2 次方程式を具体的な場面で利用することができる。 得られた結果を意味づけしたり活用したりすることができる。 c：2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 2 次方程式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題

2学期・3学期	4章 関数 $y=ax^2$	① **関数 $y=ax^2$**	a：関数 y＝ax2 の意味を理解し， 事象の中に関数 y＝a x^2 としてとらえられるものがあることを知っている。 関数 $y=ax^2$ について、グラフやその特徴について理解している。 関数 $y=ax^2$ の変域を求めることができる。 b： 具体的な事象から関数 y＝a x^2 の関係を見いだし，見いだした関係について説明することができる。 関数 $y=ax^2$ の特徴を表，式，グラフでとらえるとともに，それらを相互に関連づけて考察し，説明することができる。 関数 $y=ax^2$ の変域や変化について，原点や a の値に着目して考察し，説明することができる。 c： 関数 $y=ax^2$ の表，式，グラフを相互に関連づけようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
		② **関数の利用**	a： 比例，反比例，1 次関数，関数 $y=ax^2$ とは異なる関数関係があることを理解している。 b： 関数 $y=ax^2$ を具体的な場面で利用することができる。 具体的な事象から式で表すことが困難な関数関係について，表やグラフを用いて考察し，説明することができる。 c： 関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 関数 $y=ax^2$ を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
	5章 相似な図形	① 相似な図形	a： 相似の意味や性質を理解している。 三角形の相似条件を理解している。 相似な図形の相似比と面積の比との関係を理解している。 相似な立体の相似比と表面積の比，相似比と体積の比との関係を理解している。 b： 三角形の合同条件と対比させながら，三角形の相似条件を見いだすことができる。 2 つの三角形が相似であるかどうかを，三角形の相似条件をもとにして説明することができる。 三角形の相似条件などをもとに，図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 c： 三角形の合同条件と対比させながら，三角形の相似条件を見いだそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題

		② 平行線と線分の比	a： 三角形と線分の比の性質を用いて，線分の長さなどを求めることができる。 平行線と線分の比の性質を用いて，線分の長さなどを求めることができる。 b： 三角形と線分の比についての性質を統合的にとらえることができる。 中点連結定理を平行線と線分の比の特別な場合として統合的にとらえることができる。 平行線と線分の比についての性質を見いだし，それらを確かめることができる。 c： 三角形と線分の比についての性質を統合的にとらえようとしている。 平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
		③ 相似の利用	b： 相似な図形の性質を具体的な場面で利用することができる。 c： 相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 相似を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
	7章 三平方の定理	④ **円**	a :円周角と中心角の関係を理解している。 円周角の定理を用いて，角の大きさを求めることができる。 円周角の定理の逆を理解している。 b :円周角と中心角の関係をもとに，同じ弧に対する円周角の大きさが等しいことを見いだすことができる。 円周角の定理や円周角の定理の逆を具体的な場面で利用することができる。 c： 円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 円の接線の作図を見通して立てて行おうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
	7章 三平方の定理	**② 三平方の定理**	a： 三平方の定理の意味を理解し，それが証明できることを知っている。 三平方の定理の逆の意味を理解している。 b： 三平方の定理を見いだすことができる。 c： 三平方の定理を見いだそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題

		③　三平方の定理の利用	b：三平方の定理を具体的な場面で利用できる。 三平方の定理を具体的な場面で利用できる。 c：三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 三平方の定理を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 三平方の定理を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題
		③　**母集団と標本**	a：標本調査の必要性と意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し，整理できる。 b：標本調査の方法や結果を批判的に考察し説明することができる。 標本調査を行い，母集団の傾向を推定し判断することができる。 c：標本調査の必要性と意味を考えようとしている。 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 標本調査を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度